

【奈義町教育委員会】

Ⅰ人Ⅰ台端末の利活用に係る計画

Ⅰ Ⅰ人Ⅰ台端末を始めとするICT環境によって実現する目指す学びの姿

- ①教師と児童生徒、児童生徒同士が触れ合い、関わり合う中で、ICTを適切に活用し、対話や協働、学び合いや教え合い等を通じて学習する姿
- ②Ⅰ人Ⅰ台端末により、個別最適な学び方を選択しながら主体的に学習する姿
- ③ICT活用により、子どもたちが興味関心を持ち、学習活動の幅を広げていく姿

2 GIGA第Ⅰ期の総括

県が示す「岡山県版 ICT 機器授業活用Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」に沿って、段階を踏んで活用を進めており、活用頻度等の数値目標については、「岡山県版 GIGA スクール構想に向けた目標と活用計画」を目安に各校における取組を評価しながら進めてきている。

(Ⅰ) 環境整備に関すること

令和2年7月～事務局、教職員、児童生徒、アカウント作成

令和3年1月 高速ネットワーク整備

令和3年1月 タブレットPC端末 納入

令和3年2月 ガイドライン、保護者向け文書等作成・配布

令和3年5月～ドリル教材の導入

教師用デジタル教科書導入、学習eポータル導入

令和5年1月 スクリーニングシステム導入

令和6年3月 ネットワークアセスメント実施

令和6年8月 学習eポータル再導入

環境整備について、教職員の負担軽減や不安解消のため、ネット環境のアセスメントを実施し、環境を整えたり、保守契約の実施により端末のトラブルの対応を迅速に行ったりできるよう取り組んできた。また、フィルタリングソフトを導入し、ネットトラブルについては必要に応じて小中で情報共有し、防止対策を行ってきた。しかし、これからも新しい技術が急速に普及するため、環境整備は随時更新していくことが必要であり、課題でもある。ネット環境をはじめとし、大型提示装置やシステム、ソフト等、必要に応じて新しいものを整備していくようにする。

(Ⅱ) 研修に関すること

【令和2年度】

◇町教研教育推進チーム発足（年4回実施）

- ・校園でのICT教育推進について
- ・グループウェアを活用した学習活動について（実技講習）
- ・オンライン会議ツールの活用について（実技講習）

◇校内研修

- ・ICT機器の活用について（タブレット、実物投影機、ドリル教材）
- ・奈義小・中 アカウント設定・管理研修
- ・グループウェア活用演習

【令和３年度】

◇町教研教育推進チーム会（年４回実施）

- ・児童生徒一台端末の使用における問題点（帯電時の対処方法）
- ・タブレットの持ち帰り
- ・児童生徒一台端末のセキュリティの設定について

◇校内研修

講師招聘による授業研修及び公開授業（各校 年間 計５～６回）

【令和４年度】

◇ＩＣＴ活用推進チーム会議（年６回実施）

- ・情報活用能力育成のための年間指導計画の作成
- ・実践事例集、情報活用能力体系表の作成
- ・情報教育の全体計画作成と情報活用能力体系表のすり合わせ

◇校内研修

講師招聘による授業研修及び公開授業（小学校３回、中学校６回）

県内公開授業研修会の実施

【令和５年度】

◇４月ＩＣＴ活用全体研修会 講師：三浦隆志氏

◇ＩＣＴ活用推進チーム会議（年４回実施）

- ・情報活用能力体系表に基づいた授業実践
- ・授業実践の収集
- ・ステージ３「児童が学びを選択する」に向けた講習会（講師：県の指導主事）

◇校内研修

講師招聘による授業研修及び公開授業（小学校４回、中学校６回）

【令和６年度】

◇ICT 活用推進チーム会（年４回実施）

- ・情報活用能力体系表に基づいた授業実践活用集の作成
- ・タイピング向上の研修及び情報共有
- ・情報化再認定に向けた準備

◇校内研修

- ・講師招聘による授業研修及び公開授業（小学校４回、中学校６回）

本町では、端末導入時より、計画的に教職員研修を実施してきた。そのため、教職員の活用状況を問う項目において、「一人で端末を活用した授業を行うことができる」と回答した割合が小中学校とも１００％である。また、児童生徒の活用頻度についても、取り組みが進んできている。Ｒ６全国学力学習状況調査により、授業でＰＣ タブレットなどの ICT 機器を「ほぼ毎日利用している」と答えた割合は、小学６年生が６９．４％、中学３年生が８８．１％であり、全国平均を大きく上回った。また、家庭への端末もちかえりを小学３年生から実施しており、定着してきている。

今後の課題は、いかに利活用をしていくかということである。協働的な学び、個別最適な学びを実現するために、授業改善及びその家庭学習との連動を進めていくことを大切にしていく。また、日々進化する情報技術を教職員がまずは学ぶ機会を提供し、子どもたちに情報活用能力を意識して身につけさせられるよう研修を継続して実施していきたい。

3 一人一台端末の利活用方策

端末の整備更新により、一人一台端末環境を引き続き維持することを前提として、以下のことに取り組んでいく。

(1) 教職員の ICT 活用スキルの向上

- 全体研修
 - ・生成 AI 活用研修
- 定期的な ICT 担当者会の開催
- 校内研修
 - ・情報優良化認定に向けた取組
 - ・令和 7 年 1 月より更新準備
 - ・採点システムの導入研修

(2) 一人一台端末の積極的な活用

- PDCA サイクル
 - ・小中学校がそれぞれ町の掲げた目標をもとに、各学校で目標を決めて PDCA サイクルで取組を進めていけるよう支援する。
 - ・アンケート結果による検証と学校への指導（5 月、11 月）
- 情報モラル教育の指導
 - ・奈義町情報活用能力体系表をもとに、授業で取り扱う。（事例集作成）
 - ・生徒指導担当者会での講習会実施

(3) 個別最適・協働的な学びの充実

- ICT を活用した授業支援の充実
 - ・児童用デジタル教科書（外国語科・社会科 5・6 年）の導入
 - ・教師用デジタル教科書の全教科導入
 - ・AI ドリル導入
- 授業研修の支援
 - ・校内授業研修の講師招聘（各校 3 回以上）
 - ・先進地視察（推進員全員）及び外部講師招聘（県 ICT キャラバン研修の活用）

(4) 学びの保証

- 個別支援の充実
 - ・心の健康観察の導入
 - ・授業配信用の端末の整備
 - ・特別支援を要する児童生徒へのニーズに応じた ICT を活用した対応

KPI

項目	KPI	現状値	目標値
1 人一台端末を日常的に活用する	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：0% 中：100%	100% (R8)
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：0% 中：100%	100% (R8)
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100% 中：100%	100% (R8)
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100% 中：100%	100% (R8)
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：0% 中：100%	100% (R8)
1 人一台端末を活用して学びを保障する	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率	小：100% 中：100%	100% (R8)
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率	小：100% 中：100%	100% (R8)
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率	対象者なし	100% (R8)
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率	小：100% 中：100%	100% (R8)